

2012年6月22日

## 成田空港が地域に向けて発信する地球温暖化対策

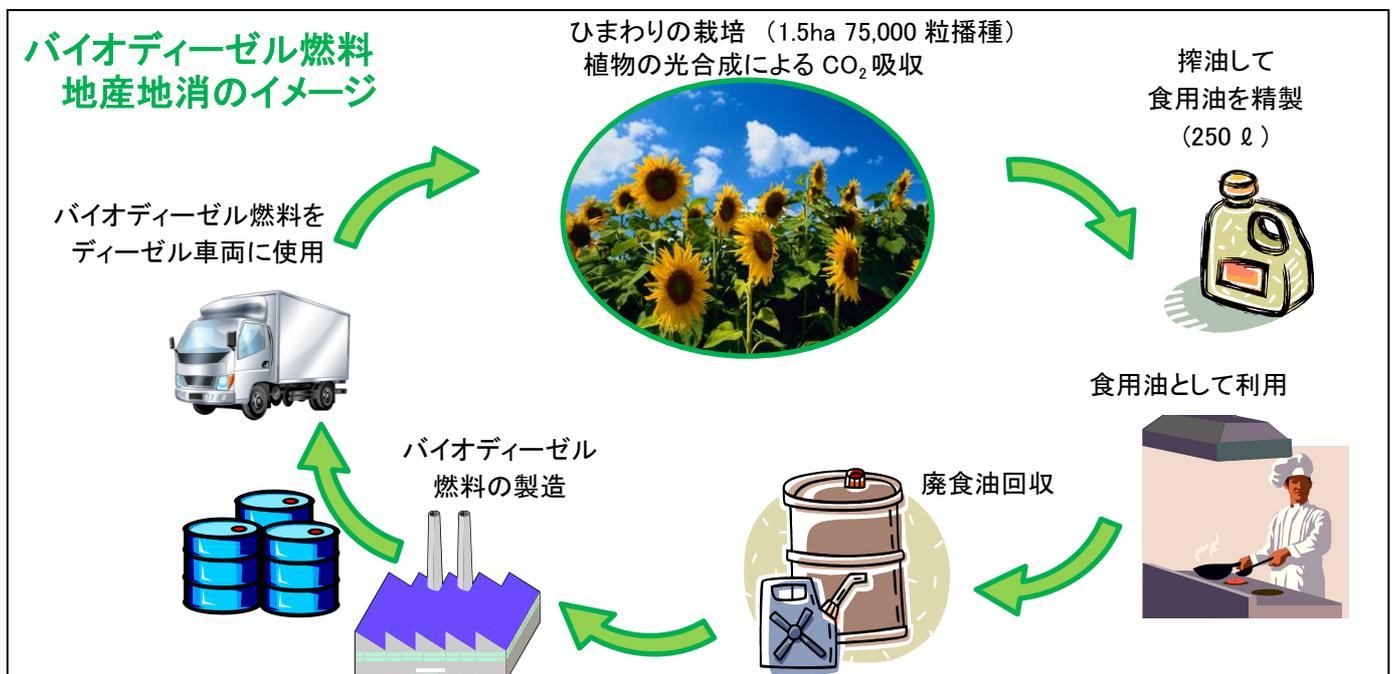
# バイオディーゼル燃料の地産地消に向け取り組みをスタート!

## ～騒音対策用地にひまわりを播種～

NAA は、エコ・エアポートを目指した取り組みの一つとして、5 月末日、千葉県立下総高等学校、(株)JALUX、(株)エコニカルとともに「成田空港バイオディーゼル燃料普及促進協議会」を立ち上げました。6 月 11 日には、同校の生徒らにより、NAA の騒音対策用地(成田市高倉地区 1.5ha、地図参照)に油糧作物であるひまわりの播種を行いました。

本協議会は、ひまわりの栽培による CO<sub>2</sub> の吸収、ひまわりからの食用油精製、調理後の廃食油からのバイオディーゼル燃料(B5)\*製造、空港関連車両へのバイオディーゼル燃料の利用という、サイクルを形成することを目的としています。

バイオディーゼル燃料の利用は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出削減、廃棄物抑制など多様な環境負荷削減効果が期待されています。



秋には、ひまわりの種から食用油 250ℓ を搾油し、機内食工場や空港のレストラン等で利用いただき、その後、他の廃食油と合わせて回収し、バイオディーゼル燃料を精製する予定です。製造されたバイオディーゼル燃料は、空港関連のディーゼル車両への利用を目指していきます。



下総高等学校の生徒による  
ひまわりの播種の様子(2012年6月11日(月))



発芽したひまわりの様子  
(2012年6月19日(火))

※バイオディーゼル燃料(B5)

純バイオディーゼル燃料 100%で軽油の代替として使用されるバイオディーゼル燃料を B100 というのに対し、軽油に純バイオディーゼル燃料(B100)を約5%混和したものを B5 という。B5 は揮発油等の品質の確保等に関する法律に適合しており、5%のカーボンニュートラルが図られる。今回、NAA が目指すのは蒸留したB100を混和したB5の普及活動。

主なスケジュール

- 5月31日 「成田空港バイオディーゼル燃料普及促進協議会」設立
- 6月11日 ひまわり播種
- 8月中旬 ひまわり開花～見頃
- 10月(予定) ひまわり収穫・搾油
- 11月(予定) バイオディーゼル燃料の製造  
車両への使用

廃食油の回収



※スケジュールは状況によって変更となる場合があります

成田市高倉地区地図

